

鉄道友の会 2019 年度定時総会 議案書

日 時 2019 年 7 月 6 日 (土) 13 : 30 ~ 16 : 45
場 所 北とぴあ 第 2 研修室 (東京都北区王子 1-11-1)

総 会 次 第

司 会	理 事	加藤 幸弘
議 長	副 会 長	松田 清宏
挨 拶	会 長	須田 寛
出席者・議決権行使者数報告	議 長	

《議 事》

第 1 号議案	2018 年度運営報告承認の件	
	専務理事	関 崇博
第 2 号議案	2018 年度収支決算報告承認の件	
	理 事	二宮 敬彦
第 3 号議案	2019 年度運営計画案承認の件	
	専務理事	関 崇博
第 4 号議案	2019 年度収支予算案承認の件	
	理 事	二宮 敬彦
第 5 号議案	役員選考会を構成する代議員選出の件	
	専務理事	関 崇博

[第1号議案] 2018年度運営報告

組織概況

《役員》

会長	須田 寛	(2018年7月7日推戴)	
副会長	久保 敏	(2018年7月7日推戴)	
副会長	柚原 誠	(2018年7月7日推戴)	
副会長	松田 清宏	(2018年7月7日推戴)	
理事	14名	(2018年7月7日選出)	【18ページ参照】
監事	2名	(2018年7月7日選出)	【18ページ参照】

《名誉会員・参与・顧問》 名誉会員 0名、参与 12名、顧問 6名
(2019年3月末現在) 【18ページ参照】

《会員》

正会員	2,990名		
家族会員	35名		
合計	3,025名	(2019年3月末現在)	(前年比△7名)
	(参考) 3,032名	(2018年3月末)	(前年比+9名)
	3,023名	(2017年3月末)	(前年比△75名)
	3,098名	(2016年3月末)	(前年比△105名)

賛助会員

80社	(2019年3月末現在)	
(参考) 75社	(2018年3月末)	
71社	(2017年3月末)	
72社	(2016年3月末)	【19ページ参照】

《代議員》 59名 (2019～2020年度)
(参考) 2017年度選出時点 61名
2016年度選出時点 61名
【18ページ参照】

《研究会・支部》

研究会 (7)	車両記録研究会、客車気動車研究会、貨車研究会、小田急研究会、東急電車研究会、西鉄研究会、無線サークル
支部 (17)	北海道支部、秋田支部、山形支部、北関東支部、東京支部、新潟支部、長野支部、北陸支部、福井支部、静岡支部、名古屋支部、京都支部、阪神支部、東中国支部、中国支部、四国支部、九州支部

(2019年3月末現在)

会務概況

はじめに

2018年度の定時総会で承認いただいた運営計画の基本方針は、少子高齢化が進み、情報化社会の更なる進展や国際化等の社会状況のなかで、さらには当会への社会のニーズを確かめ対応しつつ、会員の活動においては、会則に定める会の目的を踏まえてステップアップを引き続き目指すとともに、鉄道趣味の健全な発展を促すための活動を進めることを目指すこととし、つぎの(1)～(3)の重点項目を掲げ、各項目に複数の活動目標を設定しました。以下にその概要を総括します

(1) 社会的周知度の向上

鉄道と鉄道趣味の発展に寄与することを目的として、下記の活動を推進するとともに、その充実をはかります。

ア) 鉄道車両を文化財的記録として社会に広めるための活動の推進

①鉄道車両の文化財化活動の継続実施

②鉄道シリーズ切手等を通して、鉄道車両の情報を社会に広める活動の推進

イ) 顕彰活動の充実

①ブルーリボン賞・ローレル賞の顕彰の実施

②島秀雄記念優秀著作賞の顕彰の実施

ウ) 鉄道友の会アーカイブス（資料保存と活用方法の検討）の継続検討と推進

エ) 賛助会員、関連業界、諸官庁、協会・団体等との交流・連携及び海外との交流推進

ア) ①については、2017年度推薦調査活動を行った国産初期の電気機関車2両（アプト式ED4010及び国産量産機ED161）が2018年に国重要文化財に指定されました。また2018年に推薦調査活動した蒸気動車ホジ6014号について2019年3月文化庁答申があり2019年中に国重要文化財として決定の予定です。

②の「鉄道シリーズ切手」については、第6集（2018年10月4日発行）に関して、写真等資料の提供、記載内容の確認等の協力を行いました。なお、「鉄道シリーズ切手」は、この第6集をもって完結となりました。

イ) ①・②ともに、例年通り実施しました。

ウ) 活動の一環として、機関誌「RAILFAN」の臨時増刊で、「日本国有鉄道気動車形式集1966」の(2)及び(3)としてとりまとめました。

エ) では、恒例行事の「鉄道ファン／キヤノン フォトコンテストの後援」の協力等を行いました。また日本郵便の「鉄道シリーズ切手」(第6集)の発行に協力しました。

いっぽう、2016年新たに設定した「海外との交流推進」に関して、2017年度計画行事(実施期日は2018年度)として、台湾高速鉄道、台湾鉄道管理局及び高雄LRT等を訪問するツアーを実施しました。この訪問に関連して、台湾の交通部(我が国の国交省に相当)からの依頼で、台北二二八公園に保存される9号蒸気機関車(我が国の鉄道創業開始時在籍した10両の蒸気機関車のうちの1両)の復元保存のための資料提供の要望があり、その調査を行って報告書を提出しました。

(2) 会則が定める目的を実現するための方策の支援

鉄道知識の普及のための方策に対し、さらなる充実をはかる機会を会員に提供するために、その活動を支援します。

- ア) 機関誌「RAILFAN」の定期発行と内容の充実
- イ) 鉄道友の会ウェブサイトの更なる充実
- ウ) 全国の会員を対象とした一連の複数行事の開催
- エ) 会活動活性化のための本部と支部とのコミュニケーション強化

ア) については、通常号 6 冊、別冊 2 冊 (No.759~766) の計 8 冊を発行しました。

イ) については、継続して、**鉄道友の会ウェブサイト**の細部改良を実施しました。〔(3) 項参照〕

ウ) については、中国地区で計画を進めていましたが、止むを得ない事情により中止しました。

エ) については、支部との共催行事、海外行事を含めて、18 件を実施しました。

(3) 活動基盤強化

鉄道趣味の理解と広がりの中で、当会の広報活動の強化をはかり、社会的周知度の向上を目指しつつ、会員増加を図ります。

- ア) 鉄道趣味誌での活動紹介「鉄道友の会だより」掲載
- イ) 鉄道友の会ウェブサイト全般の改善強化・効果的システムの構築
- ウ) 社会が当会に求めるニーズに合わせて、制度・規程類の整備・見直しを検討

ア) については、従来通り継続しました。

イ) については、入会申込フォーマットを改良し、再入会時の事務局への問い合わせを省略することで、再入会手続きを簡略化し入会チャンスの増加を企図しました。また、昨年引き続き「JRCニュースリリース」欄を活用して外部への情報発信を実施しました。

ウ) 創立 66 年を迎える当会の今後の活動等の方向性について審議・検討を継続していますが、特に会運営の基盤となる経理面について検討を続けており、支出の厳正化・削減を推進（旅費規程運用の厳格化、電磁的手法による理事会の試行）進めたほか、会員増加の活動を進めた。また「会員及び非会員の個人団体からの寄附制度」をスタートさせました。

2018 年度も、会員各位のご支援により会員数をほぼ前年度並みとすることができましたが、若年層の減少と高齢化社会の進行は避けられず、また団体活動等に対する社会風潮の変化も避けることはできません。このため、“魅力的な会とは何か”ということ継続検討してゆきたく、是非とも会員各位の前向きなご意見・ご提案をお願い致します。

以上、単年度としては、全体としてほぼ予定した活動を実行できたと考えています。次ページ以降に、各業務の詳細を報告いたします。

担当業務報告

1. 総務／事務局

(1) 会員関係

ア) 正会員・家族会員の減少が昨年止まりましたが、昨年度は前年比 7 名減の 3,025 名となりました。皆様方のご協力により微減にとどまり 3,000 名台を維持することができました。昨年比では減ですが、一昨年比ではプラスの実績となりました。2019 年度も更なるご支援をお願い致します。

イ) 2018 年度分の本部会費と研究会・支部費一括納入は、2 研究会・12 支部、本部行事案内の 17 種類（本部、客車気動車、無線、北海道、北関東、東京（2 種類）、長野、新潟、北陸、福井、静岡、名古屋（2 種類）、阪神、中国、四国について実施しましたが、その利用者は、1,344 名でした。

2019 年度会費の一括納入では、前年度と同等の 17 種類について実施しています。

ウ) 会費納入方法については、ゆうちょ銀行振替自動払込みの利用者は 392 名でした。2019 年度会費のゆうちょ銀行振替自動払込みの利用者は 369 名でした。

(2) 賛助会員関係

賛助会員は、前年の 75 社に加え、次の 5 社が入会されました。株式会社アサヤマ、共栄実業株式会社、株式会社三彩工芸社、八幡電機産業株式会社、株式会社ヤシマキザイ。合計 80 社となっています。

尚、本年 4 月から現在までの新賛助会員はありません。

(3) 総会・代議員関係

通常総会は、2018 年 7 月 7 日（土）に東京都千代田区 弘済会館 4 階 萩の間で開催しました。総会構成員総数 80 名のうち、議決権行使者数は 72 名（出席 59 名、委任 13 名）でした。また総会終了後、支部・研究会の活動報告会を開催しました。

(4) 理事会関係

理事会は次の通り 5 回開催しました。

2018 年 5 月 26 日（土）、7 月 7 日（土）、11 月 25 日（日）

2019 年 1 月 27 日（日）、3 月 23 日（土）

(5) 事務局ビル名変更

・事務局ビルの所有者変更に伴い、2018 年 9 月にビル名が変更されました。

「第五DMJビル」→「ヒューリック市ヶ谷ビル」

2. 経理

収 支		
収 入	24,549,804 円	
前期繰越	△1,079,014 円	
収入合計	23,470,790 円	
支 出	22,435,319 円	
収支差額	1,035,471 円（単年度収支（寄附金除き）	256,485 円）

収支差額は約 100 万円の黒字となり、赤字を解消できました。寄附金を除いた単年度の収支では約 25 万円の黒字となりました。

【12・13 ページ参照】

3. 事業

3-（1） ブルーリボン賞・ローレル賞

（a）2018 年ブルーリボン賞・ローレル賞の選考を次の通り行いました。

ア）2017 年 11 月 18 日（土）開催の理事会で選考委員を選出しました。

選考委員（9名：荻原俊夫、加藤幸弘、坂戸宏太、白川保友、
登山昭彦、中山嘉彦、西尾恵介、橋本政明、真鍋裕司 会員

イ）第 1 回選考委員会を 2018 年 1 月 20 日（土）に開催しました。

選考委員長に加藤幸弘委員を互選で選出、ブルーリボン賞・ローレル賞候補車両 17 車種を選定しました。

会員投票用はがきを、「RAILFAN」759 号に同封しました。

（投票締切 2018 年 4 月 14 日（月）消印有効）

【「RAILFAN」759 号（2018.4）参照】

ウ）第 2 回選考委員会は 2018 年 4 月 21 日（土）に開催しました。

会員投票の開票およびブルーリボン賞・ローレル賞の選定を行いました。

投票者数 1,628 名（投票率 53.95%）

選定結果

ブルーリボン賞	西日本旅客鉄道 35 系
ローレル賞	東日本旅客鉄道 E353 系
	東武鉄道 500 系
	鹿児島市交通局 7500 形

【「RAILFAN」760 号（2018.6）参照】

選定に関するプレス発表は、2018 年 5 月 24 日（木）15 時に国土交通記者会および交通運輸記者クラブ、青灯クラブ（JR西日本内）、東海交通研究会で実施しました。また、日本鉄道車輛工業会、鉄道趣味誌出版各社にお知らせしました。

なお、受賞した鉄道事業者側の発表としては、東武鉄道、西日本旅客鉄道からの発表がありました。また、日本鉄道車輛工業会総会にて発表がありました。その後の新聞報道としては、5 月 26 日に交通新聞に全体の記事が掲載されました。

オ) 贈呈式は、次の通り開催しました。(詳細は、本部主催行事関係参照)

・ブルーリボン賞 西日本旅客鉄道 35系客車

2018年12月9日(日)西日本旅客鉄道新山口駅

【「RAILFAN」766号(2019.2)参照】

・ローレル賞 東武鉄道 500系

2018年9月30日(日)東武鉄道浅草駅

【「RAILFAN」764号(2018.12)参照】

・ローレル賞 東日本旅客鉄道 E235系

2018年10月3日(土)東日本旅客鉄道 松本駅

【「RAILFAN」766号(2019.02)参照】

・ローレル賞 鹿児島市交通局 7500形

2018年10月20日(土)上荒田の杜公園(交通局隣接)

【「RAILFAN」764号(2018.12)参照】

(b) 2019年ブルーリボン賞・ローレル賞の選考を次の通り行なっています。

ア) 2018年11月25日(日)開催の理事会で選考委員を選出しました。

選考委員(9名)：伊藤陽一、荻原俊夫、加藤幸弘、坂戸宏太、

中山嘉彦、西尾恵介、橋本政明、北條正樹、真鍋裕司 会員

イ) 第1回選考委員会を2019年1月12日(土)に開催しました。

選考委員長に加藤幸弘委員を互選で選出、ブルーリボン賞・ローレル賞候補車両10車種を選定しました。

【「RAILFAN」767号(2019.4)参照】

3-(2) 島秀雄記念優秀著作賞

(a) 2018年島秀雄記念優秀著作賞の選考を次の通り行いました。

ア) 選考委員に下記10会員が選出されました。

選考委員(10名)：荻原俊夫、小野田滋、高井薫平、藤岡雄一、星野俊也、

前田喜代治、三宅俊彦、宮崎繁幹、宮田寛之、和田洋会員

ウ) 候補作品の募集案内を「RAILFAN」758号(2018年2月発行)および鉄道友の会ウェブサイト(会員サイト)に掲載しました(応募締切2018年3月16日(金))。

エ) 延べ推薦数は20件(単行本部門15件、定期刊行物部門5件)でした。

オ) 第1回選考委員会を2018年5月26日(土)に開催。選考委員長に高井薫平委員を互選で選出しました。

カ) 第2回選考委員会を2018年6月30日(土)に開催。第2次選考対象として単行本部門6件、定期刊行物部門2件を選定しました。

キ) 最終選考委員会を2018年8月11日(土)に開催しました。

[選定結果]

単行本部門(2件)

・名取紀之「紀州鉱山専用軌道」ネコ・パブリッシング

・KEMURIPRO「阿里山森林鉄道」南軽出版局

定期刊行物部門(1件)

・中山嘉彦「日本初の連節車京阪電気鉄道60型・びわこ号」

((株)エリエイ『レイル』No103掲載)

特別部門（1件）

- ・「釧路・根室の簡易軌道」（釧路市立博物館）の出版に対して

(b)

ア) プレス発表は、2018年9月28日（金）15時に国土交通省記者会で行いました。
また、鉄道趣味誌出版各社にお知らせしました。

イ) 贈呈式は、次の通り開催しました。

開催日・場所：2018年11月25日（日）アルカディア市ヶ谷 私学会館

参加者：39名

【「RAILFAN」766号（2019.2）参照】

(c) 2019年島秀雄記念優秀著作賞の選考を次の通り行っています。

ア) 候補作品の募集案内を「RAILFAN」766号(2019年2月発行)および会員向サイトに掲載しました（応募締切2019年3月29日（金））。

イ) 選考委員を2019年6月中決定し7月に第一回委員会を開催する予定です。

3- (3) 行事

■一般行事

No.	開催日	行事名	開催場所	参加者
1	7月15日	神戸電鉄復刻塗装 1151 編成撮影会 阪神支部共催	鈴蘭台車庫	57名
2	7月16日	東京メトロ 8000 系撮影会	鷺沼検車区	19名
3	8月17日	大阪メトロ新 20 系撮影会	森之宮検車場	15名
4	8月31日	能勢電鉄 7200 系撮影会 阪神支部共催	平野車庫	31名
5	9月30日	東武 500 系ローレル賞贈呈式・試乗・撮影会	浅草駅・春日部支所	80名
6	10月13日	南海電鉄 6000 系撮影会 阪神支部共催	小原田車庫	68名
7	10月20日	鹿児島市交通局 7500 系ローレル賞贈呈式・撮影会	上荒田の杜公園	40名
8	11月2日	関電トンネルトローリーバス撮影	扇沢車庫	25名
9	11月3日	JR東日本E353 系ローレル賞贈呈式・撮影会	松本駅・松本車両センター	59名
10	11月4日	アルピコ交通 3000 系リバイバル塗装車撮影会	新村車庫	16名
11	11月23日	山陽電鉄 5000 系更新車撮影会 阪神支部共催	東二見車庫	64名
12	12月9日	JR西日本 35 系客車ブルーリボン賞贈呈式	新山口駅	73名
13	12月15日	神戸電鉄復刻塗装 1357 編成撮影会 阪神支部共催	鈴蘭台車庫	40名
14	2月8日	神戸市交通局 6000 形撮影会 阪神支部共催	名谷車庫	46名
15	2月23日	ゆりかもめ 7500 系撮影会	ゆりかもめ車両基地	30名
16	3月4日	JR西 35 系客車撮影会	新山口支所	16名
17	3月24日	東京メトロ 2000 系撮影会	中野車両管理所	30名

■海外行事 第2回台湾鉄道見学撮影ツアー(2018/4/11-15)注)

開催日	行事名	開催場所	参加者
4月11日	台湾高速鉄道の博物館見学	高鉄探索館(桃園)	9名
4月12日	台湾新幹線700T見学撮影	台湾高速鉄路左営基地(高雄)	
	高雄LRT(架線レスシステムの路面電車)見学	車庫(籬仔内)及び哈瑪星	
	高雄機廠の職員通勤列車の撮影	工場引込線沿線(高雄)	
	ショッピングモールのバッテリートラム見学撮影		
4月13日	唯一残る非冷房客車列車(3671レ)の乗車	南廻線(枋寮→台東)	
	非冷房客車およびDR2700形DC見学撮影	台鉄台東機務分段(台東)	
	非冷房客車列車(3672レ)の沿線撮影	南廻線(大麻里付近)	
4月14日	有名撮影地での列車走行写真の撮影	台東線(関山-海端間の陸橋)	
	DR2800形DC及び保存蒸機LDK59の見学撮影	花蓮機務段及花蓮機廠(花蓮)	
4月15日	各自自由活動	草衙大魯閣SC(高雄)	

注) 本行事は2017年度計画(実施が2018年度)のため、2018年総会議案書でも報告済み。

4. 組織

(1) 今後とも社会に貢献する鉄道友の会を目標に、規程・体制の見直し、事務の効率化等を進めました。

- ・機構改革10年経過を踏まえての課題抽出。
- ・理事等担務分掌の明確化。
- ・会員数3,000名の維持。

(2) 「鉄道文化財推薦委員会」

ア) 鉄道車両の文化財化活動については、2017年度に国産アプト式電気機関車ED4010(鉄道博物館蔵)と量産国産電気機関車ED161(青梅鉄道公園蔵)を推薦し、2018年10月31日付の官報に掲載され、正式に国重要文化財となりました。

イ) 2018年度は蒸気動車ホジ6014号(リニア・鉄道館蔵)について調査を進め、文化庁文化審議会では2019年3月18日付で国重要文化財とするよう答申を行いました。

(3) 鉄道友の会ウェブサイトによる連絡方法の利用状況は次の通りです。

ア) ウェブサイトからの入会申込は195件あり、内137名が入会しました。

(情報担当と共同)

イ) 「本部行事案内」(はがき・封書による行事告知)は、2018年度166名の会員が利用されました。発行件数は、20行事(はがき使用18回、封書使用0回)でした。

2019年度も、170名に配信中です(5月15日現在)。

(情報担当と共同)

(4) 「鉄道友の会ご案内」パンフレットは、

ア) 支部の協力を得て、模型運転会、写真展等の行事開催時に、一般向に配布をお願いしています。また、模型店他の協力を得て、店頭等での配布を行っています。

入会案内配布場所：

東京:カワイモデル、せとうち の他、名古屋:リニア・鉄道館での配付も行っています。

イ) PDF版をウェブページよりダウンロード出来ます。(情報・編集担当と共同)

5. 編集

(1) 機関誌「RAILFAN」の発行

ア) 2018年度は、759号～766号まで通常号6冊、臨時増刊号2冊を発行しました。
臨時増刊号の特集テーマは次の通りです。

763号 日本国有鉄道 気動車形式集 1966 (2)

765号 日本国有鉄道 気動車形式集 1966 (3)

イ) 「予告・お知らせ」「例会予定」「報告」は、会務情報システムの活用で、ウェブサイトとの連携を図りながら記事等を掲載しました。(情報担当と共同)

ウ) 書店取扱い 下記3書店で引き続き取扱いを行いました。
書泉グランデ、書泉ブックタワー、旭屋書店なんばCity店。

(2) 鉄道趣味誌に「鉄道友の会だより」を掲載

下記5誌に「鉄道友の会だより」を毎月掲載しています。

「鉄道ピクトリアル」「鉄道ファン」「鉄道ジャーナル」「とれいん」「Rail Magazine」

6. 情報

(1) 鉄道友の会ウェブサイト

鉄道友の会ウェブサイトの改良を引き続き進め、以下の通り実施しました。

ア) 会務に関する情報流通は、会務情報システムにより運用しています。各研究会・支部の協力により、昨年に引き続き活動報告の投稿が活発になっています。

イ) SNS (TwitterおよびFacebook) の公式アカウントについては、2019年3月現在で、会員の約1割がフォロワーとなりました。

ウ) RAILFAN目次検索用のデータ作成者の逝去に伴い、データ入力を継続する方法について検討しました。

エ) 昨年に引き続き、鉄道友の会ウェブサイトのアクセス数などについてグーグル・アナリティクスを使った分析を実施しています。

7. 広報

(1) 日本郵便株式会社への協力

歴代ブルーリボン賞受賞車両等をテーマにした、「鉄道シリーズ切手」(第6集)の映像提供、監修について協力を行ないました。この第6集をもって「鉄道シリーズ切手」は完結しました。

(2) 広報関係

ア) 「2018第42回鉄道ファン/キヤノン フォトコンテスト」(主催:交友社/キヤノンマーケティングジャパン)を後援、鉄道友の会賞を贈呈しました。

また、鉄道友の会賞・グランプリ・ジュニアミドル賞・ジュニア賞の入賞者に副賞として、会員資格1年分を贈呈しました。

表彰式: 2018年11月30日(金)、キヤノンギャラリー銀座

イ) 各鉄道事業者、報道・出版関連からの取材、情報提供依頼、問い合わせ、商品の販促企画相談等に随時対応しました。(総数約150件)

8. 海外

- (1) 次の各国の鉄道ファンクラブ等と会報、情報等の交換を引き続き実施しました。
「RAILFAN」は、目次を英訳して添付しています。

送付国（10カ国・14団体）：

オーストラリア、ベルギー、フランス、ニュージーランド、ノルウェー、
スウェーデン、イギリス、アメリカ、ウルグアイ、中華民国（台湾）

- (2) NRHS（National Railway Historical Society、本部アメリカ）日本支部事務局を、
本会本部事務局に置き活動を継続中です。日本支部会員は12名、代表は宮崎繁幹会員
です。

- (3) 本部主催の第2回海外鉄道見学・撮影会として、台湾の鉄道を訪問しました。
(2018年4月11日～15日実施)

[第2号議案] 2018年度収支決算報告

2018年度 収支計算書(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

1. 収支計算の部

(1) 収入の部

単位:円

科 目	予 算	決 算	差 額	予算執行率
会費収入				
入 会 金	200,000	182,000	△ 18,000	91.0%
一 般 会 費	18,650,000	18,650,000	0	100.0%
賛 助 会 費	1,970,000	2,150,000	180,000	109.1%
(小 計)	20,820,000	20,982,000	162,000	100.8%
会費外収入				
支 部 事 務 受 託 料	400,000	389,940	△ 10,060	97.5%
会 報 委 託	700,000	487,408	△ 212,592	69.6%
会 報 広 告	100,000	0	△ 100,000	0.0%
受 取 利 息	1,000	265	△ 735	26.5%
行 事 収 入	400,000	303,791	△ 96,209	75.9%
寄 附 金	0	1,858,000	1,858,000	---
雑 収 入	500,000	528,400	28,400	105.7%
(収 入 計)	22,921,000	24,549,804	1,628,804	107.1%
前 期 繰 越	-1,079,014	-1,079,014	0	100.0%
別 途 積 立 金 戻 入	0	0	0	---
基 本 金 戻 入	0	0	0	---
収 入 合 計 (A)	21,841,986	23,470,790	1,628,804	107.5%

(2) 支出の部

科 目	予 算	決 算	差 額	予算執行率
会 報 費	12,100,000	12,679,696	579,696	104.8%
会報印刷費	6,100,000	6,987,960	887,960	114.6%
会報発送費	1,700,000	1,567,008	△ 132,992	92.2%
会報制作費	4,300,000	4,124,728	△ 175,272	95.9%
BL 賞 ポ ス ト カ ー ド	0	55,080	55,080	---
表 彰 費	900,000	954,421	54,421	106.0%
情 報 シ ス テ ム 費	500,000	351,613	△ 148,387	70.3%
行 事 費	400,000	166,298	△ 233,702	41.6%
事 業 費	20,000	50,000	30,000	250.0%
海 外 交 流 費	0	0	0	---
支 部 活 動 費	0	30,000	30,000	---
特 定 プ ロ ジ ェ ク ト 費	0	0	0	---
総 会 費	100,000	149,796	49,796	149.8%
理 事 会 議 費	500,000	572,040	72,040	114.4%
会 員 証 費	300,000	278,871	△ 21,129	93.0%
機 器 更 新 費	0	0	0	---
事 務 局 費	7,000,000	7,147,504	147,504	102.1%
別 途 積 立 金 繰 入	0	0	0	---
予 備 費	21,986	0	△ 21,986	---
支 出 合 計 (B)	21,841,986	22,435,319	593,333	102.7%
収 支 差 額 (C)=(A)-(B)	0	1,035,471	1,035,471	

[参考] 単年度収支(寄附金除き)

256,485円(2017年度420,981円)

2. 正味財産増減計算の部

単位:円

科 目	決 算 額	備 考
収 支 差 額 (C)	1,035,471	
資 産 増 加 額 (D)	0	
資 産 減 少 額 (E)	394,797	たな卸資産、什器備品償却
積立金等繰入額 (F)	84,712	基本金へ繰入
次 期 繰 越 金 (G) = (C) + (D) - (E) - (F)	555,962	

貸借対照表

2019年3月31日現在

単位:円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	3,508	未 払 金	0
普 通 預 金	9,318,132	預 り 金	4,530,220
ゆうちよ銀行振替	16,148,142	2019年度会費前受金	16,027,400
定 額 貯 金	9,920,640	前 受 金	0
債 券	0	仮 受 金	0
未 収 金	0	別 途 積 立 金	1,500,000
前 払 金	13,660		
仮 払 金	0	負 債 計	22,057,620
棚 卸 資 産	0		
貯 蔵 品	0		
流 動 資 産 計	35,404,082	正 味 財 産 の 部	
		科 目	金 額
什 器 備 品	0	基 本 金	14,700,000
差 入 れ 保 証 金	1,909,500	次 期 繰 越	555,962
		正 味 財 産 計	15,255,962
固 定 資 産 計	1,909,500		
合 計	37,313,582	合 計	37,313,582

監査報告

本議案書に記載の活動報告等は、会の状況を正しく示しているものと認めます。

役員は職務を適正に執行しているものと認めます。

帳票類を精査の結果、会計処理は適正に実施されており、また、計算書類は、収支および財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

2019年4月21日

監事 千代村 資夫 ⑩

監事 西尾 恵介 ⑩

【第3号議案】 2019年度運営計画案

基本方針

創立66年を迎える状況のなか、社会貢献を着実に進めるいっぽうで、趣味の会として創立した時の理念、すなわち会員同士の交流を通して楽しみながら鉄道趣味を向上させてきたことを思い、基本方針として次のような活動目標を掲げます。

(1) 社会的活動の推進

ア) 鉄道車両を文化財として社会に広めるための活動の推進

① 鉄道車両の文化財推薦の継続実施

② 広報新企画の推進

イ) 顕彰活動の実施

① ブルーリボン賞・ローレル賞の実施

② 島秀雄記念優秀著作賞の実施

ウ) 鉄道友の会アーカイブス（資料保存と活用方法の検討）の継続検討と推進

エ) 賛助会員、関連業界、諸官庁、協会・団体等との交流・連携及び海外との交流推進

(2) 鉄道知識の普及活動の推進

ア) 機関誌「RAILFAN」の定期発行と内容の充実

イ) 鉄道友の会ウェブサイトの更なる充実

ウ) 全国の会員を対象とした一連の複数行事の開催

エ) 会活動活性化のための本部と支部とのコミュニケーション強化

(3) 会活動の基盤強化の推進

ア) 支部規程に従った支部・研究会の組織及び運営に対する支援の推進

イ) 鉄道趣味誌での活動紹介「鉄道友の会だより」掲載の継続

ウ) 鉄道友の会ウェブサイト全般の改善強化・効果的システムの構築

エ) 社会が当会に求めるニーズに合わせて、制度・規程類の整備・見直しの検討

[第4号議案] 2019年度収支予算案

2019年度 予算案(2019年4月1日より2020年3月31日まで)

(1) 収入の部

単位:円

科 目	2019年度 予算案	2018年度 予算案	差 額	2018年度 決 算
会費収入				
入 会 金	180,000	200,000	-20,000	182,000
一 般 会 費	18,650,000	18,650,000	0	18,650,000
賛 助 会 費	2,150,000	1,970,000	180,000	2,150,000
(小 計)	20,980,000	20,820,000	160,000	20,982,000
会費外収入				
支 部 事 務 受 託	400,000	400,000	0	389,940
会 報 委 託	500,000	700,000	-200,000	487,408
会 報 広 告	50,000	100,000	-50,000	0
受 取 利 息	1,000	1,000	0	265
行 事 収 入	300,000	400,000	-100,000	303,791
寄 附 金	0	0	0	1,858,000
雑 収 入	50,000	500,000	-450,000	528,400
(収 入 計)	22,281,000	22,921,000	-640,000	24,549,804
前 期 繰 越	555,962	-1,079,014	1,634,976	-1,079,014
別 途 積 立 金 戻 入	0	0	0	0
基 本 金 戻 入	0	0	0	0
収 入 合 計 (A)	22,836,962	21,841,986	994,976	23,470,790

(2) 支出の部

科 目	2019年度 予算案	2018年度 予算案	差 額	2018年度 決 算
会 報 費	13,000,000	12,100,000	900,000	12,679,696
会 報 印 刷 費	7,100,000	6,100,000	1,000,000	6,987,960
会 報 発 送 費	1,700,000	1,700,000	0	1,567,008
会 報 制 作 費	4,200,000	4,300,000	-100,000	4,124,728
BL 賞 ポ ス ト カ ー ド	0	0	0	287,280
表 彰 費	1,000,000	900,000	100,000	954,421
情 報 シ ス テ ム 費	500,000	500,000	0	351,613
行 事 費	200,000	400,000	-200,000	166,298
支 部 業 務 費	50,000	20,000	30,000	50,000
支 部 活 動 費	0	0	0	30,000
特 定 プ ロ ジ ェ ク ト 費	0	0	0	0
総 理 会 費	150,000	100,000	50,000	149,796
理 事 会 議 費	600,000	500,000	100,000	572,040
会 員 証 費	300,000	300,000	0	278,871
機 器 更 新 費	0	0	0	0
事 務 局 費	7,000,000	7,000,000	0	6,915,304
別 途 積 立 金 繰 入	0	0	0	0
予 備 費	36,962	21,986	14,976	0
支 出 合 計 (B)	22,836,962	21,841,986	994,976	22,435,319
収 支 差 額 (C) = (A) - (B)	0	0	0	1,035,471

[第5号議案] 役員選考会を構成する代議員選出の件

総会規程第7条3項および総会規程の運用に関する内規第1条の規定に基づき、役員選考会を構成する代議員として、次の3名を選出することを提案します。

金子	智治	会員
中山	嘉彦	会員
藤田	吾郎	会員

[参考資料] 役員等名簿 (2019年7月1日現在)

理事・監事 担務

理事 (13名)

関 崇博 [専務理事]

内田隆夫 [総務]、大幡哲海 [編集]、荻原俊夫[事業]、小野田滋 [事業]、

加藤幸弘 [組織]、亀井秀夫[事業]、鹿山晃[総務・事務局長]、下田晃市 [事業]、登山昭彦[広報]、

二宮敬彦 [経理]、服部朗宏 [情報]、日比政昭 [広報]、山口進[組織]

監事 (2名)

千代村資夫、西尾恵介

理事・監事の任期は2018年度～2019年度 (2020年度定時総会終了時迄)

名誉会員・参与・顧問

名誉会員 (0名)

参与 (12名)

生方良雄、久保田久雄、白井 昭、白土貞夫、高山禮蔵、高井薫平、田部井康修、

西野保行、長谷川明、三橋克己、宮澤孝一、山口長之

顧問 (6名)

青木栄一、大庭幸雄、佐伯 洋、曾根 悟、前田喜代治、山口益生

代議員

[正会員からの推薦] (28名)

井口昌樹、宇田賢吉、海老澤賢治、片岡 薫、北野隆雄、小菅一己、佐藤浩也、

塩屋敏之、新谷一郎、須永 望、高田 圭、高石 修、滝澤宗高、富永一正、

中村 稔、西川 要、橋本政明、濱道輝章、原 英喜、平野正範、古屋憲隆、

松嶋克広、真鍋裕司、前田善弘、水澤宗和、三宅弘晃、山岸房雄、吉田行男

[研究会からの推薦] (5名)

藤岡雄一 (車両記録研究会)、藤田吾郎 (客車気動車研究会)、島谷基信 (小田急研究会)、

金子智治 (東急電車研究会)、兵頭俊康 (西鉄研究会)

[支部からの推薦] (17名)

斉藤 凌 (北海道支部)、本田正博 (秋田支部)、武田 守 (山形支部)、

大島登志彦 (北関東支部)、山口長之 (東京支部)、榎木文彦 (新潟支部)、

藤岡博信 (長野支部)、卯野一郎 (北陸支部)、岸本雅行 (福井支部)、

増田 昭 (静岡支部)、野上基長 (名古屋支部)、三増晃嗣 (京都支部)、

坪倉則孝 (阪神支部)、大賀宗一郎 (東中国支部)、名本 学 (中国支部)、

森川 厚 (四国支部)、日下博文 (九州支部)

[理事会からの推薦] (9名)

秋元克広、後藤文男、佐藤竜一、竹上潤司、中山嘉彦、深見夏好、三宅俊彦、

光永悠一、焼田 健

(注) 任期：2019年4月1日～2021年3月31日

[参考資料]

2018 年度賛助会員名簿

(2019 年 3 月現在/五十音順)

会 員 名	会 員 名
株式会社アサヤマ	西武鉄道株式会社
株式会社アネック	株式会社総合車両製作所
アルナ車両株式会社	株式会社ダイワトーイ
アルナ輸送機用品株式会社	株式会社鉄道ジャーナル社
イカロス出版株式会社	鉄道情報システム株式会社
株式会社井門コーポレーション	株式会社電気車研究会
叡山電鉄株式会社	東海旅客鉄道株式会社
江ノ島電鉄株式会社	東京急行電鉄株式会社
株式会社エリエイ	東京地下鉄株式会社
小田急電鉄株式会社	東武鉄道株式会社
株式会社カトー	株式会社動輪堂
川崎重工業株式会社	株式会社トータルメディア開発研究所
北大阪急行電鉄株式会社	株式会社中村自工
九州旅客鉄道株式会社	名古屋鉄道株式会社
共栄実業株式会社	ナブテスコ株式会社
株式会社京三製作所	南海電気鉄道株式会社
近畿車輛株式会社	新潟トランス株式会社
近畿日本鉄道株式会社	西日本旅客鉄道株式会社
京王電鉄株式会社	日本貨物鉄道株式会社
京成電鉄株式会社	一般社団法人日本交通協会
京阪電気鉄道株式会社	日本車輛製造株式会社
京浜急行電鉄株式会社	日本信号株式会社
公益財団法人交通協力会	日本鉄道写真作家協会
株式会社交通新聞社	公益財団法人日本ナショナルトラスト
神戸電鉄株式会社	株式会社ネコ・パブリッシング
株式会社交友社	箱根登山鉄道株式会社
相模鉄道株式会社	阪急電鉄株式会社
札幌交通機械株式会社	阪神電気鉄道株式会社
株式会社三彩工芸社	株式会社BANDAI - SPIRITS
シーエヌ建設株式会社	東日本旅客鉄道株式会社
JR九州エンジニアリング株式会社	株式会社日立製作所
株式会社ジェイアール西日本テクノス	北総鉄道株式会社
JR東日本テクノロジー株式会社	北海道旅客鉄道株式会社
株式会社 J T B パブリッシング	堀江車輛電装株式会社
四国旅客鉄道株式会社	三菱電機株式会社
静岡鉄道株式会社	宮津海陸運輸株式会社
新京成電鉄株式会社	森尾電機株式会社
有限会社秦川堂書店	株式会社ヤマキザイ
学校法人駿河台学園	八幡電気産業株式会社
株式会社整電社	株式会社ユタカ製作所

MEMO